

離婚合意書

甲野太郎（以下、「甲」という。）と乙川花子（以下、「乙」という。）とは、本日、以下のとおり合意する。

第1条（離婚の合意及び離婚届けの提出）

甲と乙は、本日、協議離婚することに合意し、【甲・乙】は、離婚届出用紙に所要の記載をして署名押印し、その届出を【乙・甲】に託すこととし、【乙・甲】は、速やかにこれを届出する。

第2条（親権者及び監護権者）

当事者間の長女丙子（平成〇年〇月〇日生）及び長男丁男（平成〇年〇月〇日生）の親権者をいずれも【父・母】である【甲・乙】と定め、今後、同人において監護養育する。

第3条（養育費）

【乙・甲】は、【甲・乙】に対し、前条の子らの養育費として、平成〇年〇月から、同人らがそれぞれ満20歳に達する日の属する月まで、1人につき月額〇万円ずつを、毎月〇日限り、〇〇銀行〇〇支店の「〇〇 ××」名義の普通預金口座（口座番号〇〇〇〇〇〇）に振り込む方法により支払う。ただし、振込手数料は、【甲・乙】の負担とする。

第4条（面会交流）

【甲・乙】は、【乙・甲】に対し、第2条記載の子らと面会交流することを認め、その具体的な日時、場所、方法等については、子の福祉に配慮し、当事者双方で協議して定める。

第5条（財産分与）

- 1 【甲・乙】は、【乙・甲】に対し、本件離婚に伴う財産分与として、金〇〇万円の支払義務があることを認め、これを、平成〇年〇月〇日限り、〇〇銀行〇〇支店の「〇〇 ××」名義の普通預金口座（口座番号〇〇〇〇〇〇）に振り込む方法により支払う。ただし、振込手数料は、【甲・乙】の負担とする。
- 2 【甲・乙】は、【乙・甲】に対し、本件離婚に伴う財産分与として、別紙物件目録記載の不動産の所有権を譲渡する。

3 【甲・乙】は、【乙・甲】に対し、前項記載の不動産について、前項の財産分与を原因とする所有権移転登記手続をする。ただし、登記手続費用は、【乙・甲】の負担とする。

第6条（解決金）

【甲・乙】は、【乙・甲】に対し、本件離婚に伴う解決金（慰謝料）として、金〇〇万円の支払義務があることを認め、これを、平成〇年〇月〇日限り、〇〇銀行〇〇支店の「〇〇 ××」名義の普通預金口座（口座番号〇〇〇〇〇〇）に振り込む方法により支払う。ただし、振込手数料は、【甲・乙】の負担とする。

第7条（年金分割）

甲乙間の別紙年金分割のための情報通知記載書の情報に係る年金分割についての請求すべき按分割合を0.5と定める。

第8条（清算条項）

甲及び乙は、当事者双方の間には、本件に関し、本合意書に定めるもののほか、何らの債権債務のないことを相互に確認し、今後、名義のいかんを問わず金銭その他の請求をしない。

本合意の証として本合意書を2通作成し、甲乙が各1通ずつ保管するものとする。

平成〇年〇月〇日

〈甲〉

住 所

氏 名

Ⓔ

〈乙〉

住 所

氏 名

Ⓔ

(別紙)

物件目録（土地用）

所	在
地	番
地	目
地	積

(別紙)

物件目録 (建物用)

所 在

家屋番号

種 類

構 造

床 面 積 1 階

2 階